



今回は町内で測量、建設コンサル、土地家屋調査士事業などを営む高橋測量設計株式会社取材しました。地域のインフラ発展を支えて60年。信頼されている秘訣とは？その真相を伺いました。

◆大切にしていること

お客様との対話を第一に考え、その中からお客様の求めを常に思い、最善の業務提案を実現できるよう技術研鑽しています。

◆最新技術を駆使した測量設計

これまでの地上測量に加え、ドローン及び地上レーザーを使った三次元測量も行なっています。特に災害現場での測量は二次災害発生のリスクが高まります。そのため、現場作業員の負担軽減の観点からドローンによる空撮、三次元レーザーによる測量を活用しています。

◆イチオシの強み

実務経験が10年以上のメンバーが多く、測量業から法務手続きまで業務のワンストップ対応ができる点が強みです。また、土地家屋調査士が2名在籍している測量会社は県内で当社のみです。測量に付随する法務手続きを一手に請け負うことが可能です。



現場でドローンが活躍しています！

町民の皆さんへ



高橋測量設計株式会社
代表取締役
清水 平太郎 氏

町民の皆さんの求めに応えられるよう、お客様の気持ちに寄り添い、対話を第一に考えた業務を心がけていきます。

また、お仕事は未経験者のかたでも経験豊富な従業員がやさしく指導しますのでご安心ください。入社後、資格取得など個人としても成長できる社内環境を整えているので、共に働いてくださるかたはご連絡をお待ちしています。

地域おこし 協力隊通信

地域おこし 協力隊員

ベイセンバイ・ゼレ
(高校魅力化担当)



地域おこし協力隊のゼレです。

昨年からは皆野高校との連携、早稲田大学との連携、産学官連携による地域活性化に取り組んでいます。特に、皆野高校で英語授業のサポートや早稲田大学と連携したオンライン交流を開催しました。また、異文化理解をテーマとした皆野国際クラブ「EIGEN」を昨年度設立しました。クラブでは生徒たちと一緒に英語の歌やビデオで英語を勉強するなどの活動を行なっています。

6月16日に皆野高校で「文化の日」スウェーデン文化について「の授業を行いました。皆野高校の「文化の日」とは、海外から日本に留学している学生たちに皆野高校へ来てもらい、自国の文化を紹介する授業のことです。現在、皆野高校で英語の授業をサポート

していますが、もっと海外の人たちと交流し、楽しく英語を学びながら異文化理解を深めることを目的としています。

今回はスウェーデンから早稲田大学に留学中のオリバーさんに授業をしてもらいました。オリバーさんは生徒たちにスウェーデンの文化と料理を紹介したほか、英会話練習カードを使った楽しいゲームも行いました。オリバーさんの授業は生徒たちからも好評で、日本で人気のゲームがスウェーデンで作成されたと聞いて驚いていました。



英語学習の様子

翌日、地域おこし協力隊の松藤隊員と一緒にオリバーさんに町を紹介しました。オリバーさんは皆野町の豊かな自然に憧れ、美味しい冷たいそばを食べました。皆野町のそばは東京のお店よりも美味しいと話していま

した。しかし、英語の表記が町内にあまりない点を挙げており、観光スポットがどこにあるかを示すための英語の標識があれば、外国人観光客もアクセスしやすくなると話していました。

今後も皆野高校にいろいろな留学生たちに来てもらい、異文化交流を増やし、英語を通じて楽しい時間を作れるよう活動したいと思っています。また、皆野国際クラブ「EIGEN」でもっと楽しい企画を考えて、生徒たちと楽しい学びの場を作りたいと思います。



町内を観光しました！

